

会派政務調査活動・先進地調査等 精算書

R7年7月25日

三田市議会議長 様

本会派（私）は、会派政務調査活動・先進地調査に要した費用の精算結果を下記のとおり報告します。

会 派 名	さんだの未来		代表者	佐貫尚子
			議員名	関口正人
派遣者氏名	佐貫尚子・関口正人・小山裕久・中田哲			
視 察 先	富山市 総曲輪レガートスクウェア 1日目 福井県池田町 2日目			
調 査 事 項 (調査目的)	富山市総曲輪レガートスクウェア 民間活力を生かした学校跡地活用 福井県池田町 地域資源を活かした教育			
日 時	令和7年7月16日（水曜日）～令和7年7月17日（木曜日）			
支 払 金 内 訳	科 目	支 出 額	摘 要	
	宿泊料	13,500 円	/	
	日 当	6,000 円	/	
	鉄 道 賃 (モノレール)	24,380 円	JR 三田駅⇒JR 富山駅 10,950 円 JR 富山駅⇒JR 福井駅 5,480 円 JR 福井駅⇒JR 三田駅 7,950 円	
	航空賃			
	バス賃	420 円	富山駅前⇄総曲輪 210 円 × 2	
	レンタカー	2,718 円	レンタカー10,873 円 (ガソリン・保険込み) 10,873 円 ÷ 4 名 按 分 = 2,718 円 視察時刻に合うバス便無し、タクシー料金よりも費用が安価であった為、レンタカーを利用。	
	タクシー		/	
	その他	3,475 円	視察先へのお土産代4人で按分 2,900 円 ÷ 4 = 725 円 視察料金 11,000 円 ÷ 4 = 2,750	
	合 計	50,493 円		
備 考	視察時刻に合うバス便が無く、タクシー料金よりも費用が安価であった為、レンタカーを利用。			

※100 km未満の距離における特急利用、タクシー利用の理由は備考欄に記入。

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入してください。

個人支給の場合、会派名[無会派は記入不要]、議員名[代表者名は記入不要]を記入してください。

令和7年7月25日

三田市議会議長 福田 秀章 様

本会派（私）は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	さんだの未来	代表者	
		議員名	関口正人
派遣者氏名	佐貫尚子・関口正人・小山裕久・中田哲		
視察先及び調査事項	福井県池田町		
日 時	令和7年7月17日（木曜日）10時～12時		
視察先対応者	池田町 教育委員会事務局長 山本弘紀 池田町役場 総務課 宮本礼		
（調査結果の概要及び所見）別紙でも可			
1. 視察目的			
本視察は、山林資源や地域資源を活用した「地元でしかできない教育」の実践事例を学び、三田市における教育施策や地域活性化の参考とすることを目的とした。福井県池田町は人口約2,500人の山間地域でありながら、豊かな自然資源と地域の人材を最大限に活用し、特色ある教育活動を展開していることで知られる。			
2. 現地の概要			
池田町は町面積の約90%を森林が占め、杉・檜などの良質な木材資源に恵まれている。加えて、清流、棚田、伝統農業、地元食材など多彩な地域資源が存在する。町全体が「学びのフィールド」として機能しており、学校教育と地域活動が密接に結びついているのが特徴である。			
3. 主な教育取組			
1. 森林環境教育			
○ 小中学生が町有林での植林、間伐、木工体験を年間カリキュラムに組み込み、森の循環や資源利用の意義を学んでいる。			
○ 間伐材は学習机やベンチとして再利用し、子どもたちが「自分たちの森の木で学ぶ」環境を整備。			
2. 地域人材による学びの支援			

- 地域住民が「学びの先生」として、農作業、伝統工芸、地域史などを直接指導。
- 世代間交流を通じ、生活文化の継承と地域愛の醸成を図っている。

3. 食育・地産地消プログラム

- 学校給食で地元農産物を積極的に活用。子どもたちが栽培・収穫した野菜を給食に取り入れる仕組み。
- 食を通じた地域経済循環の意識を育む。

4. 地域丸ごとフィールド学習

- 棚田の維持活動、河川の生態調査、雪を活用した理科実験など、地理的・気候的特性を生かした探究型学習。

4. 成果と課題

成果

- 子どもたちが地域資源を誇りに感じ、将来的にUターン・Iターンのきっかけとなる意識づけが進んでいる。
- 学校・地域・行政が一体となった教育システムの構築に成功している。

課題

- 人口減少による担い手不足と財源確保が今後の大きな課題。
- 外部人材や都市部との連携をさらに深める必要がある。

5. 三田市への示唆

- 森林資源や農地など、三田市にも豊かな地域資源がある。教育現場において「地域そのものを教材化する」視点を強化すべきである。
- 地域人材の参画を促す制度的仕組み（地域コーディネーター配置など）が効果的。
- 都市近郊の利点を活かし、交流・体験のプログラムを都市部の子どもや保護者向けに展開すれば、地域活性化にもつながる。

6. 感想

池田町で見た教育は、黒板の上ではなく、大地の上で育まれていた。森が教科書となり、川が理科室となり、人が歴史そのものとなる。地域に根ざした学びは、知識以上の「生きる力」を子どもたちに授ける。

三田市に帰ってからの課題は明白だ——地域資源を眠らせるのではなく、未来を創るエンジンとして動かすことだ。

「学びは、地域から世界へ。」その信念を胸に、三田の教育を次のステージへ押し上げていきたい。

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入してください。

個人支給の場合、会派名[無会派は記入不要]、議員名[代表者名は記入不要]を記入してください。

政務調査活動・先進地調査等 報告書

三田市議会議員 福田香子 様

令和 7 年 7 月 25 日

本会派（私）は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	さんだの未来	代表者	佐貫尚子
		議員名	関口正人
派遣者氏名	佐貫尚子、中田哲、小山裕久、関口正人		
視察先及び 調査事項 (調査目的)	富山県富山市 総曲輪レガートスクエア視察 民間手法による学校跡地活用		
日 時	令和7年7月16日(水) 13時00分～15時50分		
視察先対応者	富山市企画管理部企画調整課 副主幹 政策調整係長 酒井真実子氏、 NPO法人まちづくりスポットとやま コーディネータ 菅原 裕子氏 同コーディネータ カスティーロ美智子氏、同コーディネータ 板屋 亜希恵氏		

(調査結果の概要及び所見) 別紙でも可

富山県富山市の旧総曲輪小学校跡地に整備された総曲輪レガートスクエアの整備（官民連携による公有地活用）について、まちづくりの基本方針、公有地等を活用したまちづくり、建設に向けての考え方、健康拠点の整備等を、また、総曲輪レガートスクエアについて、その概要、運営推進の協議会、官民連携体制、協議会の活動収支状況、地域コミュニティへの取り組み、NPOによる活動支援、活用事例、利用状況などについて、調査を行った。（別紙参照）

駅前を中心市街地に立地している小学校の跡地活用ということで、マンション建設などの話もあったとのことだが、市民に喜ばれる、市民が希望する複合施設が整備されたことが特筆すべきことと考える。ただし、NPO法人による運営が費用面で大変で、それが今後の課題ということであった。

三田市も今後、学校の統廃合などにより跡地の活用が課題になってくると考えるが、その立地状況を踏まえた、市民ニーズへ対応した1つの方向性、事例として、非常に参考になった。

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入してください。

個人支給の場合、会派名[無会派は記入不要]、議員名[代表者名は記入不要]を記入してください。